

定期戦代替戦下高圧勝

下	2	3	3	3	3	6	4	86	73	1
	サッカー	男子バレー	女子バレー	男子バドミントン	女子バドミントン	男子ソフトテニス	女子ソフトテニス	男子バスケットボール	女子バスケットボール	野球
海	0	0	0	0	0	0	0	58	41	6



2020年(令和2年)
7月22日
水曜日

茨城県立下妻第一高等学校新聞部

発行人 吉田 俊則
大久保 敦彦
編集人 渡辺 琴美

今年5月に開催予定であった下高と姉妹校である海高との定期戦は新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた。そのような中で両校の先生方の協議の結果、一部の競技に絞って「定期戦代替戦」の開催が決定した。6月14日から6月21日の2週の土曜日と日曜日に限り、最小限の人員で試合を行った。

「定期戦代替戦」は男女10の競技で催され、海高と熱戦を繰り広げた。下高は9対1で圧勝し、意地を見せた。この勝利は予定通り定期戦が開催されていれば11連勝に到達する偉大なものであり、来年度以降の下高生の活躍が祈念されている。

サッカー部

6月14日9時30分から11時30分の間、下高のグラウンドで20分の試合6戦が行われた。2戦目で原田真之介選手(今年6組)がシュートで先制点を決め、続けて里村優樹選手(2年7組)が追加点を上げ、差を2点に広げた。

3年生にとっては最後の定期戦であったが、味方の援護や堅い守備により海高に得点を許さず、2対0で勝利を飾った。
(稲葉)



サッカー部の皆さん
(館野撮影)



3年生にとっては本意ながら最後の後の定期戦になってしまいました。これから、受験勉強に向けて頑張ってください。
顧問 上野義徳先生

男子バレーボール部

6月20日9時半から11時半頃まで、男子バレーボールの試合が行われた。

選手たちの活気が溢れる中、ついに試合が始まった。下高は序盤からリードを続け、中盤に差し掛かると何度か同点に持ち込まれたが、抜群のチームプレーで次々と点数を決め、海高を圧倒した。そして下高は見事に3セットを先取し、3対0で勝利を収めた。
(茂田)



昨年度は負けてしまったので、今年は何とカリベンジ出来て本当にうれしいです。休校のため、試合までのコンディション作りが大変な中、本当に3年生はよく頑張ってくれたと思います心から「よく頑張った」と言いたいです。
顧問 内山哲郎先生

特別号

男女バドミントン部

6月20日10時から11時半頃まで、海高の体育館では男女バドミントンの試合が行われた。

試合は同時に始まり、仲間からの声援を受けながら選手は確実に点を奪っていった。ラストの女子の試合では一足先に試合を終えた男子も応援に加わり、メンバーに見守られる中、勝利を手にした。その結果、男女共に3対0で栄冠を勝ち取った。
(渡辺)

4ヶ月半ぶりの対外試合。海高はオーダーをかえて、第2ダブルスにエースを起用してきました。青木、霜村が元氣ハツラツプレーで勢いをつけ、主将黒澤が圧巻のシングルスを見せ、木村、丸山が相手のエースを接戦で倒しました。3年生5名レギュラー選手が2週間の練習で感覚を取り戻し、素晴らしい試合運びをしました。
県西地区負けなしの学年、お疲れ様でした。
顧問 吉田俊則先生



男女バドミントン部の皆さん
(大出、渡辺撮影)



男子バレーボール部の皆さん
(茂田撮影)